



## 切れ目のない支援を目指して ～大泉就労支援室を開設します～ 事務局長 平松嘉美

あかねの会では切れ目のない支援を目指して、未就学児から高齢の方まで、人生のその時々で必要なサービスを提供できるよう事業所を開設してきました。

従前から東京都から建物の老朽化により、移転を求められていた発達支援室あかねっこ大泉教室を、2月1日より移転開設いたしました。人通りの多い大泉街道沿いの1階にあり、バリアフリーであるだけでなく、道行く人がその様子を感じられる場所です。加えて、隣に就労継続支援B型の大泉就労支援室を新設いたします。発達支援室の利用者の保護者の方々が、成人の利用者の働く姿を見ることで、切れ目のない支援を感じていただけたらと思います。更に大泉就労支援室は自主製品を展示したり、お休みいただける場所を用意し、保護者の皆様のみならず、地域の方にも気軽に立ち寄っていただける、より地域に開かれた場を目指しています。

また、多様なサービスを提供できるよう努力してまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による売上減のためカフェレストランわれもこう目黒店を、人材確保が難しくなったことにより発達支援室あかねっこ北千住教室サポートワンを、3月末で廃止いたします。利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解の程、お願いいたします。

障がい者においてもご本人とご両親の高齢化は緊急かつ重要な課題です。今後はその対応に注力していく所存です。時代のニーズに合わせて必要なことをしていくことが大事だと考えています。今後ご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

2月1日に移転した発達支援室大泉教室



### あかね自主製品のオンライン販売はじめました

あかねの会の利用者の作品が通販サイトから購入できるようになりました。通販サイト「PIPPO」はハンディキャップがある方々が携わっている商品に特化したショッピングモールです。



## PIPPO



新型コロナウイルス感染症のため販売会などが中止になっており、自主製品を販売する場が少なくなっています。ぜひ、一度ご覧いただき、ご協力ください。あかねの会の店舗名は「われもこう」です。

URL : <https://www.pippoec.com/shopbrand/waremokou/>

※あかねの会 HP からアクセスできます

各部だより

発達支援部

### 発達支援室保護者会 リモート開催しました（1月30日）

発達支援部では1月30日に保護者会を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が発出されたため、リモート参加のみとなり、参加者は66名でした。

「豊かな生活を送るために」という吉田理事長の講演は、将来自立した生活を送るために、学齢期の今何を身につけておけばよいかを、グループホームの利用者達の実例を交えながらのお話でした。

リモート保護者会でしたが、保護者からは「参加しやすい」と好評でした。一方「参加者同士の交流ができない」といった声もあり、今後の課題となっています。当日欠席の方にも保護者会の資料を配布する予定です。